

Sanka

讃歌
冬号

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 稲田副院長に聞きました。

京都九条病院では、
腎不全の診断から
シヤント造設手術、
血液透析治療までを一貫して行っています。

◎特集② 京都九条病院の取組み。

地域医療サービスの充実を目指し、
第15回京都九条病院病診・病病連携セミナーを開催しました。

◎コミュニケーション広場

○健康は毎日の食事から「医食同源」講座（第34講目）

○地道にコツコツ「健康運動」講座（第13講目）

○ドクターの「プライベートルーム」数珠つなぎ（第64弾）

○私の病院自慢あれこれ（第64回）

◎院内活動のご紹介!!

○バレーボール部

○フットサル部



院長 松井淳琪

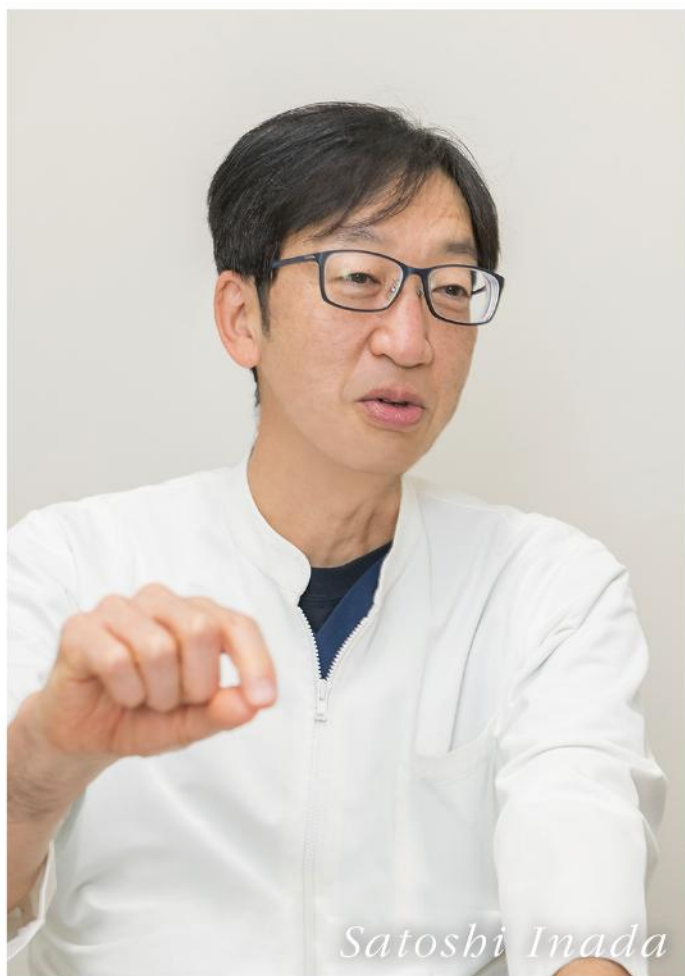


副院長 稲田聡

vol.65
2025 Winter
冬号

京都九条病院では、 腎不全の診断からシャント造設手術、 血液透析治療までを一貫して行っています。

当院では、血液透析治療を必要とされる患者さんの負担を軽減するため、2024年8月からシャント造設手術を開始しました。これによって、腎不全の診断から治療に必要な手術、血液透析治療までを一貫して行えるようになりました。



Satoshi Inada

京都九条病院 副院長・外科部長 稲田 聡

シャント造設手術は、
安定的な血液透析治療に必須の手術です。

糖尿病などによって慢性腎不全になった方は、血液透析治療が必要となります。血液透析

は、血液を抜き、透析機を通して老廃物や余分な水分を取り除いた後、きれいになった大量の血液を再び体内に戻すという、血液の入れ替えを行います。

普通、動脈（心臓から全身に血液を運ぶための血管）は身体の奥を流れており、皮膚の表面に見えている血管は静脈（全身の臓器から血液が心臓に戻るための血管）なのですが、この静脈からだけでは血液を二気に抜くことができません。そこで、採血をしやすくするために、皮膚の下で動脈と静脈をつなぎ合わせて一部の静脈を動脈化させた「透析用の血管」が必要となります。

この「透析用の血管」を造る

手術をシャント造設といい、安定的な血液透析治療を行っていく上で必須の手術です。

これまで京都九条病院ではシャント造設手術を行っていませんでしたが、当院の血液透析センターで血液透析治療を受けていた際には、他病院で手術をしていたいていました。そこで、患者さんの負担を少しでも軽減しようと、京都第一赤の腎不全専門医と連携し、2024年8月から当院でシャント造設手術が行えるようになりました。

これにより、腎不全の診断からシャント造設手術、血液透析治療までを、当院で一貫して行えるようになり、より治療を受けていただきやすくなりました。血液透析治療が必要と診断された場合は、ぜひご相談ください。

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。

さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

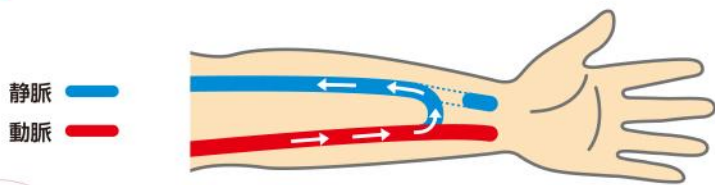
- ① 医療は患者さまとそのご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



当院で受けられるシャント造設手術「自己血管内シャント」

自己血管内シャントは人工物を使用せず、自分の血管を利用するため、感染リスクが低いとされています。また、人工血管に比べて長期的に使用できる場合が多く、血液透析治療を受ける患者さんの約90%に施術されています。

京都九条病院では
シャント血管の管理体制を充実させています。

シャント造設手術により造られた自己血管内シャントは、透析治療を受ける患者さんが何年、何十年と使用される大切な血管です。しかしながら、血管内皮の肥厚・石灰化、外部から過度の力が加わる、繰り返し行われる穿刺等といった原因によりシャント血管が細くなってしまう場合があります。

シャント血管が細くなると、体外に抜くことができる血液の量が減り、必要な量の血液浄化を行うことができなくなってしまう。そのため当院では、シャントトラブルをいち早く察知するために透析治療毎の聴診と定期的な超音波検査を行い、シャント血管の状態管理に努めています。さらに得られた情報からそれぞれの患者さんのシャントマップを作成しています。

シャントマップとは、シャント血管の走行、細さ、血液の流れ、穿刺部位等の情報を記録したもので、血管状態の管理の他にも穿刺部位の決定、患者さんが他施設で入院される場合の情報提供、シャント血管拡張術の際の血管走行の把握等にも活用されています。

また透析治療の穿刺の際には、超音波エコーを併用し、血管内での針先の位置を確認しながら穿刺を行うことでシャント血管内壁への不要なダメージを回避し、長期にわたりシャント血管が使用できるよう努めています。しかしながら、どうしても血管が細くなり処置が必要になる場合もあります。そのような場合には、当院の血管内治療専門医がシャント血管拡張術として、カテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入、風船を用いて細くなった血管を広げる治療を行います。このように当院では、シャントの作成から管理、シャントトラブル時の対応までスタッフが一人丸となり取り組んでいます。





第1部講演／京都大学 歯科口腔外科 准教授 中尾一祐氏

特集

2

京都九条病院の取組み。

地域医療サービスの充実を目指し、 第15回京都九条病院 病診・病病連携セミナーを開催しました。



京都九条病院 院長
松井淳琪

2024年11月30日(土)、
京都東急ホテルにて、京都九条
病院主催「第15回京都九条病
院病診・病病連携セミナー」を
開催しました。このセミナーは、
地域医療サービスのさらなる充
実を目的として、当院と地域の
病院診療所、さらに当院内スタ
ッフ間の連携を深めるために行
っているもので、コロナ禍の影響
もあり、今回は5年ぶりの開催
となりました。

セミナーでは、始めに京都九
条病院の松井淳琪院長が開催
の挨拶を行い、当院の新しい取
組みとして、より充実した救急
医療を地域に提供するため、東
京・虎の門病院から救急医2名
を招聘し救急部門を強化した

こと、また2023年に口腔外
科を開設し入院患者さんの口
腔ケアを行うとともに、京都大
学の歯科口腔外科と連携し難
易度の高い口腔外科手術に挑
戦していることを述べました。

【第一部】 京都九条病院の 口腔外科診療について

セミナーの第一部では、「京
都九条病院で行う口腔外科診
療」をテーマに、京都大学歯科

口腔外科の中尾一祐准教授と
浅井啓太講師に講演をしてい
ただきました。

中尾准教授は、まず口腔外
科の幅広い治療内容について説
明を行い、その中で特に外傷歯
(歯の損傷)、顎骨骨折、顎変形
症などを取り上げ講演。エナメ
ル質の欠損から神経まで達す
る損傷、脱臼など外傷歯の具体
的な治療方法や顎骨骨折に対
する顎間固定(顎のギブス)につ
いて、顎変形症での、上顎や下顎
の不均衡による咀嚼障害の改
善に向けた治療法などを紹介
されました。

続いて浅井講師からは、骨粗
鬆症などに用いられる骨吸収



第1部講演／京都大学 歯科口腔外科 講師 浅井啓太氏

「患者の義務」に関する宣言

医療は、協働作業であり、患者さまの主体的な参加の上に成り立つものであるため、患者さまには次のような義務があります。

- 1 医療者側に正確な情報を提供するとともに、疾病や医療を十分理解するよう努力する義務があります。医師をはじめとする医療提供者に、自らの心身あるいは生活について必要な情報をできるだけ正確に知らせるとともに、納得するまで質問するなどして自らの疾病や医療について十分理解するよう努力する義務があります。
- 2 医療に意欲を持って取り組む義務があります。検査や治療について、納得し合意した方針には意欲を持って取り組む義務があります。
- 3 快適な医療環境作りに協力する義務があります。すべての患者さまが快適な環境で医療が受けられるよう、病院内での規則と病院職員の指示を守る義務があります。また、社会的なルールを尊重し、他の患者さまの治療や検査、療養生活に支障を与えないように配慮することや、医療費を適切にお支払いいただくことも要求されます。



質疑応答の様子

抑制剤が引き起こす疾患、薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)についての詳しい解説や歯科インプラントの紹介、術前術後の合併症の予防や患者さんのQOL向上につながる周術期口腔機能管理の必要性が発表されました。

発表内容は、実際の治療事例や治療方法、予防策など具体的なものが多く、参加者の皆さんの関心を集めていました。講演後は、時間いっぱいまで質疑応答が行われ、救急医療での歯科の知識や医科歯科連携を進めていくことの重要性が再認識されました。

【第2部】 京都九条病院の 救急外来について

第2部では、「地域医療を守る救急体制の改革」京都九条病院における救急外来の在り方について」をテーマに、当院

の福田龍将医師と松井晃大医師が登壇。京都市の救急出動件数の増加にともない当院の救急車受け入れ体制の拡充、院内重症患者管理の強化、バイリンガルスタッフを24時間配置するなどの外国人インバウンド患者さんへの対応について具体的に説明を行いました。

また地域医療を守る救急体制の改革を行う京都九条病院は、「地域全体の医療ニーズに応え、どんな状態の患者さんでも受け入れることができる体制を目指す」と決意を述べ、参加者皆さんの賛同を得ました。



第2部講演
京都九条病院
地域救急医療研究センター 兼
高度救急集中治療センター
センター長 福田龍将

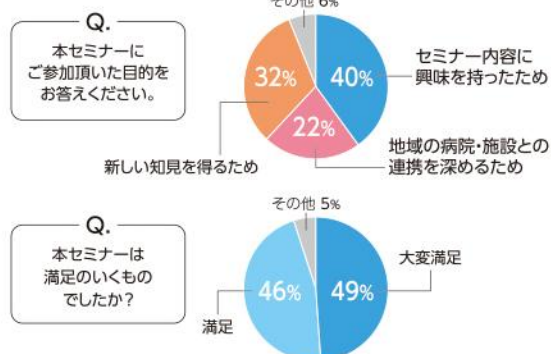


第2部講演／京都九条病院 救急部 松井晃大

セミナー終了後には「実際の手術の写真などを見ることができ非常にいい機会となった」「救急医療への取り組み内容が分かりやすく、また先生方の思いが伝わってきました」「すばらしいセミナーでした、ありがとうございます」といった感想が寄せられました。

このような意見を励みに、京都九条病院では、これからもこうしたセミナーを開催するとともに、あらゆる機会を通して地域の病院・診療所との連携を強め、地域の方々が安心して暮らしていけるよう、サポート体制の充実を図っていきます。

セミナー終了後のアンケート調査結果



セミナー終了後の 意見交換会の様子





春菊を使った 中華風サラダ

材料(4人分)

1人分のエネルギー/168kcal
炭水化物/4.2g、たんぱく質4.2g、
脂質/15.9g、食物繊維/1.5g、
塩分/1.2g

- ◎春菊…1束
- ◎ツナ缶…1缶
- ◎ポン酢…大さじ1.5杯
- ◎ごま油…小さじ1
- ◎すりごま…適量

- ①:春菊はしっかり洗って食べやすい大きさに切る。

(根の部分に土が付いていることが多いので特にしっかりと洗う。また根の部分が硬いと感ずる場合は葉だけ使用する)

- ②:ツナ缶は油分をきる。

- ③:ボールにAを混ぜておき、①と②を入れて和える。

- ④:上からすりごまをたっぷり振る。

いよいよ本格的な冬が到来し、感染症が特に気になる季節となりました。

コロナやインフルエンザなどの感染症に打ち勝つためには、手洗いがいなどの予防策に加え、規則正しい生活、しっかりと睡眠、そして栄養バランスのとれた食生活が非常に重要です。

栄養素では体の基礎体力をつくるためのたんぱく質(魚類、肉類、豆腐、卵、乳製品)、粘膜を保護するビタミンA(緑黄色野菜、鰻、レバー類)、免疫を高めるビタミンC(野菜や

果物)などが特に重要です。

◎冬場が旬の「春菊」

お鍋や焼き、和え物など加熱して使用することが多い食材ですが、生でも食べられることをご存じでしょうか？近年では生で食す用に「サラダ春菊」といった少し葉が丸みを帯びた肉厚の品種もスーパーに並んでいますし、サラダ春菊ではなく普通の春菊でも葉の部分なら問題なく生で食べられます。生のほうが特有のえぐみ、苦味も少なく、お子さんでも食べやすかったりし

ます。そして何より栄養素。加熱によって損失されてしまうビタミンCなどの栄養素は生で食べることで十分摂ることができ、感染症予防に最適とも言えます。また春菊に多く含まれるベータカロチン(体内でビタミンAに変換される)は油との相性が良く、油と合わせて摂取することで吸収率がアップし、体のサビをやつける抗酸化作用を発揮します。

そんな春菊とたんぱく質たっぷりのツナを使った簡単に作れる中華風サラダをご紹介します。

FOOD for HEALTH

健康は毎日の食事から「医食同源」講座④

講師:京都九条病院 管理栄養士 課長

片山 影美子
Emiko Katayama

冬が旬の
「春菊」で
感染症を撃退しよう。



REHABILITATION for HEALTH

地道にコツコツ「健康運動」講座⑤

京都九条病院

リハビリテーション部

運動することで
人生に彩りを!



少しずつ寒くなり身体の節々が痛くなることが多くなっているのではないのでしょうか？今回はそんな身体の痛みと運動に関するお話です。

痛みとはいったい何なのでしょう。国際疼痛学会によると、痛みの定義は「組織の質的あるいは潜在的障害にもとづいて起こる不快な感覚・情動体験、またはそれに類似した不快な感覚・情動体験である」と記載されています。これだけを見るとさっぱり何なのか分かりません。分かりやすく言うところ、怪我をしていなくてもさまざまな要因で脳が「痛み」としてとらえることがあるということです。

皆さんも肩が凝ったり、腰が痛くなったたり。なのに、気が付くと「治っている」なんて事ありませんか。

このよく分からない急にでてくる痛みに対して、近年分かってきた面白い報告があります。

例えば腰が痛い場合は、腰から脳に向けて痛みが神経を上つて伝わります。ここまではこれまでの常識でした。しかし、脳から逆にさまざまな部位へ痛みを抑える回路があることが分かってきているようです。これを下行性疼痛抑制系と言います。

では、どのようにすればこの回路を活性化させることができるのでしょうか。それがなんと運動をすることだということです。

腰が痛いから腰の運動、肩が痛いから肩の運動ではなく、全身の運動をすることで

さまざまな場所へこの回路は活性化されるそうです。

腰や肩が痛いからと家の中に閉じこもっていると逆効果になるのです。運動している人が健康に見えるのはこの効果もあるのかもしれない。

皆さんも、いつも歩いている距離より、少し遠回りしたり、運動頻度を増やすことから実践してみたいかがでしょうか。





鴨川沿い散歩時の一コマ。澄んだ空気の中、自然を感じながら歩くひとときはとても気持ちのいいもの、先日はこんな風景にも出会いました。

鴨川散歩と 京都サンガの試合観戦、 休日のゴルフで、 リフレッシュしています。

FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ④

京都九条病院 消化器内科

馬場 武彦
Takebiko Baba



消化器内科の医師として、消化器全般の検査と治療を担当しています。具体的には、良性か悪性かを診断するために内視鏡検査やCT検査を行い、その結果に対応した治療を行っています。

毎朝7時ごろ、妻と一緒に近くの鴨川沿いを散歩しています。渡り鳥がやってきた、木々が紅葉してきたといった季節の変化を見るのが楽しいですね。冬至の頃には、まだ暗い中を出て、帰る頃によりやく日が昇ってくる、といったタイミングになりますが、気持ちを整えるのにも良い習慣なので、これからも続けていくつもりです。夜は、ユーチューブ視聴やTVでスポーツ観戦をしながらゆっくり過ごしています。実は京都サンガの熱烈なファン。スポーツチャンネルで全試合を見るのはもちろん、タイミングが合えば亀岡

のサンガスタジアムまで応援に行くんですよ。昨年とは何かJ1に残留することができました。今年は、もっと上位で活躍してくれるものと期待しています。

休日の楽しみはゴルフ。仕事とはまた違った緊張感があるのと、良いショットが打てたときの気持ち良さが魅力です。それに、豊かな自然の中でプレーするのは、リフレッシュにもなります。亀岡や丹波、滋賀の竜王や大津などのゴルフ場に行くことが多いのですが、兵庫県や三重県まで出かけることも。山の中や海沿い、川沿いのコースなど、ゴルフ場それぞれにオリジナリティーがあるので、その個性を楽しみながらプレーしています。

LOVE my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ④

京都九条病院のいいところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のことが好き!!

好きな言葉
favorite word

「笑顔」

小野 愛菜
看護部
4階病棟



退院支援が手厚いところ。入院中から、患者さんとそのご家族を中心に看護師、地域連携室などが連携し、安心して家に帰れるように準備をしています。こうしたサポートがあることによって、患者さんの不安が軽減されるのはもちろん、私たちも心おきなく送り出すことができます。私のモットーは、患者さんご家族の思いや希望に近づけるような看護をしていくこと。出来る限り時間をつかって患者さんとたくさんコミュニケーションをとるようにしています。

好きな言葉
favorite word

「患者様ファースト」

上島 裕貴
リハビリテーション部
主任 作業療法士



患者様ファーストの病院の姿勢です。例えば、退院に際しても家屋訪問などを積極的に行い、看護師、セラピストとリハビリ担当者が患者さんが自宅で安心して暮らせるように対応しています。私たち作業療法士は、身体的なリハビリはもちろん、患者さんの生活環境も含めコーディネートする役目を担っています。これからも、理学療法士・言語聴覚士や医師、薬剤師などさまざまな方々と連携しながら患者さんの笑顔が絶えないようなリハビリを提供していきたいですね。

好きな言葉
favorite word

「挑戦」

三鈷 健次郎
事務部 医事課



スタッフの皆さんの人柄がいいんですよ。医事課に入ってからまだ1ヶ月で、いま仕事の流れを把握している最中です。受付や電話対応といった接遇の仕事では、とまどうことも多いのですが、皆さん丁寧に教えてくださり、サポートもしてもらえるので、心強いです。あと各部署が協力し、連携がスムーズなので、それも良いところではないでしょうか。将来的には、スタッフ皆さんの忙しさを軽減でき、患者さんの待ち時間が減るようなお手伝いができればいいなと思っています。

好きな言葉
favorite word

「明るい」

藪 ちひろ
薬剤部



質問すると、忙しい中でも丁寧に教えてもらえるので聞きやすいですね。スタッフ間のコミュニケーションが活発で、連携が取れているところも良いところ。私は薬剤部の助手として、補助業務をしています。薬の名前など覚えることも多く、急な発注が入ったりすることもしばしば大変ですが、患者さんの役に立っていると思うとやりがいがあります。最近では外国人の患者さんも増えているので、そういった方の手助けができるように、英会話の勉強をしたいと思っています。

京都私立病院協会

第43回病院対抗バレーボール大会で、 決勝大会に進出!!



京都九条病院のバレーボール部は、京都私立病院協会創立60周年記念京都府知事杯争奪第43回病院対抗バレーボール大会に出場し、決勝大会に進出しました。昨年7月に京都府立山城総合運動公園にて、19チームが参加して行われた予選ブロックを二位で通過、同年9月に西京極かたおかアリーナ京都で行われた決勝大会に臨みました。

決勝トーナメントでは、いきなり強豪チームとの対戦となり、惜しくも敗退という残念な結果になりましたが、山本名誉院長をはじめ当院の皆さんが応援に駆けつけてくださり、存分に力を発揮することができました。

バレーボール部は、コロナ禍でしばらく休眠状態にありましたが、大会開催決定の2ヶ月ほど前から新メンバーを集めて練習を再開。現メンバーは看護師、リハビリ職員、医師など男女合わせて12名。来年の大会での飛躍を目指し、部活動を再び活発化しつつあるところで、新部員募集中です。



京都私立病院協会

第16回病院対抗フットサル大会で、 ベスト8に!!



私たちフットサル部は、京都私立病院協会創立60周年記念会長杯争奪第16回病院対抗フットサル大会に参加し、昨年11月、サンガフットサルパークにて行われた決勝大会に出場しました。約40チームが参加した予選を勝ち抜き、上位20チームの一つとして決勝トーナメントに進出。1回戦は見事突破したものの、2回戦では1対1の同点となり、PK戦で敗れるという悔しい結果に。優勝は逃しましたが、ベスト8というまずまずの成績を残すことができました。

フットサル部員は現在10名。職種もさまざまで、20代から40代までと年齢幅が広いのが特徴です。週1回の練習は、他の2つの病院と合同で行っているため、当部員の参加が少ないときでも試合形式の練習ができるのが強み。また、この合同練習は、他病院の方々と親睦交流の機会ともなっています。

当部は第12回で優勝した経験を持つ実力派。次回こそはと雪辱を期して、やる気のあるメンバーを募集しています。女性の入部もOKなので、ぜひご参加を。



医療法人同仁会(社団) 京都九条病院

〒601-8453
京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団)

介護老人保健施設 マムフローラ

〒617-0853 京都市長岡京市奥海印寺奥/院25-2 TEL 075-958-3388(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院

訪問看護ステーション・マム

〒601-8454 京都市南区唐橋羅城門町16 TEL 075-661-3820(代)

京都市唐橋地域包括支援センター 京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内1階 TEL 075-694-6222(代)

医療法人同仁会(社団)

同仁会クリニック

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-7766(代)

医療法人同仁会(社団)

介護老人保健施設 マムクオーレ

〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合40-3 TEL 075-691-7755(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院

訪問リハビリテーション

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-694-6644(代)

居宅介護支援マムステーション

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町37番52京都メディックスビル東館2階 TEL 075-694-6699(代)

医療法人同仁会(社団)

同仁会疾病予防研究所

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-5070(代)

医療法人同仁会(社団)

介護老人保健施設 マムクオーレⅡ

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38 TEL 075-694-6655(代)

医療法人同仁会(社団)

ヘルパーステーション マム

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町37番52京都メディックスビル東館2階 TEL 075-694-6622(代)

医療法人同仁会(社団)

保育所 まむまむ

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内1階 TEL 075-694-6680

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)

メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 0120-558-756